

授業科目 公的扶助論Ⅰ

【担当教員名】 青木 茂		対象学年	3	対象学科	社会
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：GI0】 国民の生活と健康を最終的に保障する公的扶助について総合的に把握し、国の社会保障制度の中でその果たす役割を理解する。日本や諸外国における公的扶助制度について体系的に把握し、全体像について理解する。欧米及び日本の公的扶助についてその理念及び制度の歴史的展開について理解を深める。その中心をなす生活保護制度の具体的仕組みの理論と実際について理解を深め、併せて対象者の人権に即した権利性の確保と義務履行の在り方について考える。さまざまな低所得者支援について理解をし、貧困問題と関連する福祉的な課題について関心を持ち、社会福祉士としての判断力の土台を形成する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 公的扶助の概念と現代の貧困・低所得問題について理解し、社会を構成する諸要素への関心をはぐくむ。 2. 英国と日本を中心に公的扶助制度の歴史的推移を学び、貧困の社会的要因について理解を深め、併せて現在の生活保護に至るまでの形成過程を明らかにする。 3. 生活保護制度の原理・原則と運用について理解し、専門的な思考と判断力の基礎を作る。 4. 生活保護の最低生活保障水準について実践的に理解し問題解決能力を養う 5. 生活保護の運営実施体制と生活保護の動向について学び、福祉増進のための課題をとらえる意欲を高める。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション・公的扶助を学ぶ意味			1	講義
2	公的扶助の概念、意義と役割			1	講義
3	貧困・低所得者問題と社会的排除			1, 2	講義
4	公的扶助制度の歴史 諸外国における変遷（1）			1, 2	講義
5	公的扶助制度の歴史 諸外国における変遷（2）			1, 2	講義
6	公的扶助制度の歴史 日本における変遷（1）			1, 2, 3	講義
7	公的扶助制度に歴史 日本における変遷（2）			1, 2, 3	講義
8	生活保護法の目的と原理、原則			3, 4, 5	講義
9	保護の種類と内容および方法			3, 4, 5	講義
10	保護施設の概要、被保護者の権利・義務			3, 4, 5	講義
11	生活保護の財源・予算			3, 4, 5	講義
12	最低生活保障水準と生活保護基準（1）			3, 4, 5	講義
13	最低生活保障水準と生活保護基準（2）			3, 4, 5	講義
14	生活保護の動向（1）			1, 3, 4, 5	講義
15	生活保護の動向（2）			1, 3, 4, 5	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		低所得者に対する支援と生活保護制度	社会福祉士養成講座編集委員会	中央法規	2,200円・最新版
参考書		生活保護手帳	厚生労働省保護課	中央法規	2,500円・最新版
		厚生指針 増刊「国民の福祉の動向」	厚生統計協会	厚生統計協会	2,100円・最新版
		社会保障の手引き		中央法規	2,800円・最新版
その他の資料		現代の貧困 ワーキングプア / ホームレス / 生活保護	岩田 正美	筑摩書房（ちくま新書 659）	2007・720円
【評価方法】 出席状況、授業態度、定期試験の結果を総合的に評価する			【履修上の留意点】		